

地方創生☆アイデアコンテスト2020 内閣府沖縄総合事務局長賞授与式

日 時

2020年12月5日（土）

定 員

50 名

先着順

会 場

那覇第2地方合同庁舎1号館2階

参加費

無料

沖縄県那覇市おもろまち2-1-1

対象者

地方公共団体職員、
民間企業職員および学生等

開催趣旨

「地方創生☆アイデアコンテスト2020」に応募されたアイデアの中から、沖縄県を元気にするような政策アイデアを決定します。沖縄地域の地方創生に貢献しうる政策アイデアを表彰することで、RESASを広く社会に伝えるとともに、地域の特性や実情に応じた政策アイデアの創出や実現を促進することを目的に開催する。また、統計家である西内啓氏（株式会社データビークル代表取締役CPO）をお招きし、基調講演を行う。

■ プログラム（予定）

1. 【挨拶】内閣府沖縄総合事務局長 吉住 啓作
2. 【表彰状授与】内閣府沖縄総合事務局長 吉住 啓作
3. 【発表】2020年度受賞者
4. 【基調講演】株式会社データビークル代表取締役CPO 西内 啓氏



昨年の授与式の様子

<昨年の受賞者> 【大学生以上一般の部】

○内閣府沖縄総合事務局長賞
名桜大学リーサス研究会 分析対象地域：本部町
タイトル「沖縄×美ら海×マルシェ」

○経済産業部長賞
金沢大学 上原峻輔 分析対象地域：那覇市
タイトル「地域資源を活用した酒場＆カフェ」

○奨励賞
金沢大学 金城聰真 分析対象地域：八重瀬町
タイトル「沖縄県八重瀬町 故郷の人口問題の提言」

What is RESAS?



地域経済分析システム（RESAS）とは、国が提供している産業や人口、観光等のさまざまなビッグデータを、分かりやすく「見える化」したシステムです。住んでいる町の特徴や課題を知るためのツールとして経済産業省と内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）が提供しています。6月には、新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響がすぐに分かる「V-RESAS」が追加され、人の流れ、飲食、消費等など、感染症拡大の収束後の地域経済を再活性化させていくのが目的です。

■ 基調講演 『地方創生に役立つデータの力』

DataVehicle

統計家/株式会社データビークル代表取締役CPO
西内 啓氏



東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野助教、大学病院医療情報ネットワーク研究センター副センター長、ダナファーバー／ハーバードがん研究センター客員研究員を経て、2014年11月より株式会社データビークルを創業。自身のノウハウを活かした拡張アナリティクスツール「dataDiver」などの開発・販売と、官民のデータ活用プロジェクト支援に従事。著書に累計50万部を突破した『統計学が最強の学問である』シリーズのほか、『統計学が日本を救う』（中央公論新社）など。日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）アドバイザー。

お問い合わせ先



内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 企画振興課（仲宗根、長嶺）

TEL : 098-866-1727 FAX : 098-860-1375

E-mail : resas-okinawa@meti.go.jp

Web : <http://www.ocgb.go.jp/keisan/016185>

申込方法 : オンライン応募フォームよりご応募ください→

